

2010年
6月号

Mini-WAN

～三河港湾事務所だよ～



国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所発行 (No.40)



Mini-WANとは

港や海に関連する新鮮な話題を中心に、地元の皆さんとのつながりを大切にする広報誌です。

☆CONTENTS☆

■巻頭コラム

■最近のトピックス

○「備えよう、育てよう」地域の防災力！

～広域複合型災害防災実働訓練実施

○三河港の干潟

○衣浦港振興会が開催されました

○里海の観察会

○春の530運動を実施しました

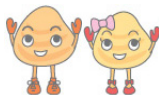
■お知らせ

○アクアフェスタ2010



防災訓練に参加した 浚渫兼油回収船「清瀧丸」

☆巻頭コラム☆



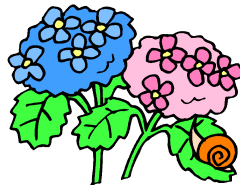
三河港湾事務所長 平井 洋次

日々、日が延びてきました。19時過ぎてもまだ明るく、帰宅時間に明るいだけでもなんだか得した気分になります。

豊橋のカレーうどんを皆さんはもう食べられたでしょうか？お店の前に「豊橋カレーうどん」というのぼり旗が立っています。各お店で少しずつ違いますが、うどん+とろろ+ごはんという組み合わせ。それにうずらのたまご。大人の男性でも満足な量ではないでしょうか。あまり昼に食べ過ぎると、午後から眠くなりそうですが。いまはスタンプラリーも行われています。それにしても、全40件食べた方はいるのでしょうか？

お隣の田原市ではどんぶりでどんぶり街道を売り出しています。こちらもお店ごとにアサリを使ったどんぶり等を提供し、全22件。こちらもお薦めです。

今回の本文には、六条湯見学や昨年の台風18号の経験も踏まえて行われた複合型防災訓練の記事もありますので是非お読みください。



「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル



おーいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)

※一部の地域を除きます。



みなとの元気は
日本の元気



国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL(0532)32-3251 FAX(0532)32-5049

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL(0569)21-2311 FAX(0569)21-2312

WEB <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>
E-mail info-mikawa@pa.cbr.mlit.go.jp

●全国どこからでも、この電話番号で最寄りの『海とみなとの相談窓口』につながります。

○「備えよう、育てよう」地域の防災力！～広域複合型災害防災実働訓練実施

●目的・概要

5月16日、豊橋市にある三河港・神野ふ頭8号岸壁で伊勢湾台風を上回る大型台風による洪水や高潮と、東海地震（震度6強）の発生を想定した「広域複合型災害防災実働訓練」が実施されました。訓練は、愛西市・東海広場をメイン会場とした「木曾三川連合水防演習」と同時開催で行われ、こちらはサテライト会場として、約120名が参加しました。

●三河港埋立地の高潮災害の教訓を踏まえ、関係者が連携

記憶に新しい台風18号の高潮被害時には強風の影響もあり、三河港コンテナターミナルに置かれていた空コンテナ136個が移動・散乱しました。

この体験を踏まえ、通常は、岸壁付近に積まれているコンテナをヤード内でも地盤の高い場所に移動させるとともに、3段積のものは、荷積みコンテナを「重し」として上に、空のコンテナを下にして2段積とし、併せて上下のコンテナをブーメランと呼ばれる金具で固定することにより、高潮による移動・散乱を防止するという「全国的にも初」となる実働訓練がコンテナ荷役事業者により実施されました。



金具で固定されたコンテナ

●四方を海で囲まれた日本、海上からの輸送による被災地の支援

6,400名の人命を奪った阪神淡路大震災において、海上輸送ルートのは活用は被災地の支援活動に大きく貢献しました。船舶を用いた食料・医療品等の緊急物資の海上輸送や被災地への給水活動は大きな手段であり、被害想定をもとに次の訓練が展開されました。

- ・浚渫兼油回収船「清龍丸」の清水タンクからの豊橋市の給水車への給水
- ・海上輸送されてきた食料・医療品などの緊急物資を愛知県トラック協会と連携し、トラックに積み被災地へ搬送
- ・（社）中部小型船安全協会・愛知県水難救済会による負傷者及び臨海部立地企業の帰宅困難者の海上搬送
- ・豊橋市の救急車による負傷者の病院への搬送



タンクから給水車への給水の様子

●港湾は交通・産業・国民生活を支える基盤、港湾施設の早期復旧に向けて

緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）、防災エキスパート並びに港湾業務艇・潜水士による陸上・海上・水中からの施設点検、地震により油貯蔵施設が破損、海上に大量の油が流出した事を想定とした「清龍丸」による回収、保安部船舶による油拡散、高潮により港内に大量に漂流した流木等を想定とした海洋環境船「白龍」による回収、第四管区海上保安本部の測量船「いせしお」による航路障害物調査、鳥羽海上保安部・三河海上保安署の巡視艇「すずか」「ひめかぜ」による水難者捜索・中部空港海上保安航空基地配属のヘリコプター「かみたか」による救助・搬送など、港湾施設の被災状況の早期把握・復旧の為に訓練も展開されました。

●いざという時に備えて

三河港は、国内外の自動車メーカーが集積する世界でもトップクラスの国際自動車港湾であり、国民生活にとって港湾は重要な役割を担っています。

『いざという時』に備えて「安全で使いやすい港づくり」の為に、行政機関・防災関係団体・企業などの大規模災害時における連携強化の重要性を再認識されました。



負傷者搬送訓練

○三河港の干潟

アサリの漁獲量日本一（平成20年度）を誇る愛知県。それを支えているのは、アサリをはじめとする二枚貝の発生場所として貴重な場所である奇跡の干潟「六条潟」です。今年1月にNHKでも特集として放映されましたこの干潟を、前回（3月）に引き続き現場視察してきました。また、今回は「汐川干潟」も視察しました（こちらは護岸からのみ）。

当日は、やや風が強いながらも、天気は良く干潟観察日和。午前11:55の干潮に合わせて六条潟には干潮1時間前に現地入りしました。満潮時の波打ち際から約800m（目測）沖合まで干潟が形成され、空に浮かぶ白い雲とのコントラストは見事な風景でした。

前回（3月）に視察したときは、まだ水温が低かったのか、カニなどの生き物の存在は確認できるものの、その動きは鈍く、海の春はまだ先？というような状況でした。

しかし今回は、マメコブシガニ、イワガニ等が活発に干潟を動き回り、「生命を育む干潟」を印象づける視察となりました。ただ、探し方が悪かったのか、干潟を掘っても掘っても本命のアサリは見つけることができず、少し残念な結果となりました。（もっと沖合にいるのかなあ？）

さて、三河港をはじめとする「みなと」に対する皆さんが思い浮かべる風景とはどのようなものでしょうか？大きな船が接岸して、貨物を荷下ろししている風景をイメージしますか？それとも工場が建ち並び、トラックが激しく行き交う風景をイメージしますか？三河港ではその両方の風景を見ることができる一方、この六条潟や汐川干潟は三河港内に位置しています。自然環境と産業・物流をはじめとする経済活動の共生。三河港をより使いやすい「みなと」として整備すると同時に、これからもずっと守っていききたい大切な干潟であると感じた視察でした。

（注意）

六条潟は愛知県漁業調整規則のアサリの採捕禁止区域として規制されています。また、干潟への進入路は海岸堤防耐震化工事のため立入禁止となっています。



汐川干潟



六条潟



六条潟のマメコブシガニ

○衣浦港振興会総会が開催されました



黒田衣浦港振興会会長の話し

5月31日、碧南商工会議所において、衣浦港振興会総会（会長：黒田昌司碧南商工会議所会頭）が開催され「重点港湾(仮称)」約40港の選定・「国際バルク戦略港湾」選定に向けた活動の推進を柱とした平成22年度の事業計画が承認されました。

冒頭、黒田衣浦港振興会会長から、これまでのAランクの港湾への昇格に向けた衣浦港の高度利用に対する取組みから、今後の選択と集中による「重点港湾(仮称)」の選定と、衣浦港の主要な取扱い貨物である「石炭(全国2位：H19)」

「とうもろこし(全国5位：H19)」の高い取

扱い量をアピールし、「国際バルク戦略港湾」の選定に向けて活動を行っていくと挨拶がありました。また、総会後には、当事務所長より、港湾行政の変遷・現状等と、時代の変化に対応した港湾行政の推進について説明がありました。

○里海の観察会

5月29日、愛知県の主催で、「里海の観察会」が開催されました。これは今年10月にCOP10（生物多様性条約第10回締約国会議）が愛知県にて開催されるにあたり、干潟や藻場などの里海（*）がもっている生物多様性の維持や水産資源の増大等の機能、重要性について県民に知ってもらうために実施されたものです。

当日は晴天で絶好の干潟・藻場観察日和。参加者は事前に愛知県水産課に申し込みをした23名。最初に愛知県水産試験場にて、愛知県内の漁業の状況、アマモの生態や役割等について水産試験場職員から説明を受けた



アマモ場での生物観察



捕獲した生物の観察

後、蒲郡市三谷町の星越海岸に移動して現地観察会を行いました。アマモ場で海中メガネを使っての生物観察や、地引き網を使ってアマモ場とその周辺に生息する生物を捕獲して観察を行いました。網にはメバル・ボラの幼魚や取扱に注意が必要な、エイ、アカクラゲ、ゴンズイが入り、参加者は小魚等にとってアマモ場は重要な場所であることや、海で遊ぶときに注意すべき生き物について、実際の生き物を観察することで勉強していました。

(*) 里海とは・・・人の手が加わることにより生産性と生物多様性が高くなった沿岸海域（平成10年・柳教授定義より）

○春の530運動を実施しました

5月25日、当事務所では、ゴミゼロ運動の一環として、昼休みに、事務所周辺や付近の公園のゴミ拾いを行いました。タバコの吸殻、空き缶、ペットボトル、コンビニ弁当の容器など、いろいろなゴミが回収されました。

緑豊かな公園に、たくさんのゴミが落ちているのは、非常に残念なことです。毎回この活動を通じて、一人一人がゴミを捨てないということの大切さを改めて感じます。

日頃から、ゴミの分別や、自分で出したゴミは自分で持ち帰ることなどを心掛け、美しいまちづくりを目指していきたいですね。



回収されたゴミ



アクアフェスタ2010

7月25日(日) 9時～12時



7月25日(日)、豊橋市上下水道局とその周辺にて「アクアフェスタ2010」が開催されます。今年のイベントは、クイズラリー、アクア〇×クイズ、リバーウォークとよがわ、ニジマスのつかみどり、簡易水質測定、三河湾浄化コーナー等を予定しています。詳しくは、広報とよはし7月1日号、もしくは、下記の問い合わせ先まで。

イベント場所：豊橋市上下水道局とその周辺

(右記の地図参照)

問い合わせ先：豊橋市上下水道局

給排水課

(0532-551-2726)



※イベントにより開催時間が異なります。

※天候により内容の変更または中止の場合があります。

※なるべく公共交通機関をご利用ください。

豊橋駅から豊橋鉄道市内線にて約10分の東八町で降りていただき、そこから北へ徒歩約10分です。

三河湾事務所ホームページはこちら <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>